

令和4年度 第2回 東部公民館運営審議会  
議事録

日	時	令和4年6月9日(木)
		午後2時54分～5時02分
会	場	東部公民館 2階 第2会議室

午後 2 時 5 4 分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

お時間は少し早いのですが、皆様おそろいですので、第 2 回東部公民館運営審議会を始めさせていただきます。

会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

まず、事前にお送りさせていただきました「令和 4 年度第 2 回東部公民館運営審議会」の冊子、また、机の上に置かせていただきました「令和 3 年度家庭教育セミナーのまとめ」及び各公民館の令和 4 年度事業計画シートになります。

不足がありましたら事務局のほうにあります、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、まず初めに、東部公民館長 金子よりご挨拶をさせていただきます。

○東部公民館長

東部公民館館長 金子でございます。第 2 回目の東部公民館運営審議会、ご審議よろしくどうぞお願いいたします。

会議に先立ちまして、本日、副委員長の舟橋委員のほうから、今日は都合によりお休みさせていただきたい旨、連絡がありましたことをご報告させていただきます。

それから、第 1 回目の委嘱式をご欠席されました三山東小学校の校長 春日淳先生へ辞令交付ということで、私が預かっておりますので、この場をお借りしまして委嘱状の交付をさせていただきたいと思っております。

（東部公民館長より春日委員へ委嘱状の交付）

○東部公民館長

今回また新たなメンバーでのスタートになることでもございますので、前回お休みされた、まずは加瀬委員のほうからご挨拶をいただければと思います。

○加瀬委員

皆さん、こんにちは。前回の第 1 回の運営審議会は、私は市役所には行っていたのですが、すけれども、その後、欠席させていただきました。前原自治連の加瀬と申します。よろしくをお願いいたします。

○東部公民館長

続きまして、春日委員、よろしく申し上げます。

○春日委員

こんにちは。前回、出張が重なってしまいまして参加することができませんでした。大変申し訳ありませんでした。今回初めてということで、三山東小学校から参りました春日と申します。どうぞよろしく申し上げます。

小学校ですけれども、学校代表ということで、この審議会のほうに名前を入れさせて

いただきました。いろんな部分で協力できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○東部公民館長

よろしくお願いいたします。

本日のご審議に当たりまして、4月からの報告ということでさせていただくわけですが、4月からはや2か月が経過して、コロナの状況についても、おかげさまで大分落ち着いてきたような状況になりつつあると思っております。毎回恒例ではないですが、コロナの状況については、新聞紙上でも、船橋市内の新規感染者数は、昨日69、その前は53ということで2桁になりつつある中で、今週の1週間も平均50人程度という数字が発表されているところでございます。

ちなみに、前回の審議会開催日4月27日、約1か月以上前ですけれども、そのときはどうだったかという、1日平均約150人の感染者数から見れば、およそ3分の1の減少傾向にある現状なのかなと思っております。

そんな状況下でも、ワクチン接種につきましては、3回目の接種を受けた方々が5か月を経過した後の4回目ということで、60歳以上の方、または18歳以上の方で基礎疾患を有する方を対象に、早速5月31日からご案内状を発送させていただいているところでございます。その中でワクチンのほうも進んでいるところでございますが、市のほうでは接種率、1回目が88.77%、国のほうでは81%ですから約7ポイント上がっているところです。2回目は88%ということで国のほうでは80%、3回目は市は63.6%で国のほうは60%という中で、市の接種率というのは全国平均よりも少し高めで接種が進んでいる状況が見られます。

そういった中で、コロナの感染状況も落ち着いてきているかなという傾向がある中で、公民館事業につきましても、これまで2年間、文化祭について開催できなかった状況でございますが、今年度の文化祭の取組につきましては、現段階におきましては、基本的な感染対策を十分に施した中で、今年度の文化祭は開催していきましょうという方針で、全26館の中で対応を進めているところでございます。

もちろん感染対策を施すということになりますと、例えば不特定多数の方々との交流をメインとしたダンスパーティーとか模擬店等の飲食、これについては感染対策の徹底を図ることから難しいという考えの中で、その点については開催できないということです。ただ、模擬店につきましては、持ち帰りが可能な包装等を施すパンとかクッキーなどであれば販売は可能としていく方針の中で、それぞれ各公民館の実行委員会等で準備作業を進めていく予定となっているのが、このところの公民館の近況報告でございます。

私のほうからは以上でございます。

○事務局（東部公民館長補佐）

引き続きまして、大塚委員長、ご挨拶のほうをお願いできますでしょうか。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。毎回、新しいメンバーの方も含まれ、それから、転任された方もいらっしゃるのですが、いずれにしても、船橋市の行政の中で公民館事業というのは一番市民に直接触れ合う場所であるというふうに私は考えています。その上で同じようなことですが、見えないところ、また気づかないところ、そういうものを含めて、事業計画とそれを実施するときに、皆さんの貴重な意見が大事なことになりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

実は前回の会議のときに、東部公民館で公民館を使っている人以外にアンケートを出そうという形で皆さんに動いていただいたのですが、コロナの関係で若干止まった時期に、行政のほうでアンケートが実施された件をお話ししました。

我々がやってきたアンケートとどう違うのかを見て、船橋地区の中で東部公民館がいつも先陣を切って動いていますので、これからもそのようにしていきたいと思ひます。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございます。

ただいまより、令和4年度第2回東部公民館運営審議会を進めさせていただきます。

本日は、委員8名のうち7名の方にご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立しております。また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。なお、本日、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきまして、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行をよろしくお願ひいたします。

○大塚委員長

それでは、議題（1）「公民館事業報告（4月1日～6月8日）」につきまして、東部公民館長さんから順次説明をお願いしたいと思います。委員の皆さんのご意見については、全公民館からご説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館からよろしくお願ひいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。報告に入る前に、先ほど委員長からお話しいただきましたアンケート調査の件につきましては、社会教育課のほうから本日アンケート集計結果につきまして送付されましたので、そのことについて今日の審議の後に報告をさせていただきたいと思っております。

それでは、東部公民館の事業報告について報告させていただきます。資料は、公民館事業の報告についてのページでございます。

まず最初に、青少年部門の「ハッピーサタデー事業」につきましては、5月15日にハッピーサタデー事業として「ボッチャの対戦」を開催いたしました。これは、障害のあるなしにかかわらず誰でも楽しめるパラスポーツということで、当日14人の子どもたちが参加され、青少年課と船橋市障がい者スポーツ協会の方々のご協力をいただきながら開催したものでございます。ボッチャのルール等を教えていただきながら対戦にまで取り組む中で、やはり対戦となると子どもたちは夢中になって、ボッチャという競技を理解し楽しめたのではないかと考えております。

続きまして、成人教育の中の「子育てサロン」につきましては、1段目の「アイアイ」と2段目の「おしゃべり広場」、また、「親子交流講座」と3本続けてということになりますが、この講座につきましては、保健所の地域保健課や前原児童ホーム、地区社会福祉協議会の皆様のご協力をいただきながらの共催事業として、シリーズで展開している事業でございます。「アイアイ」については4か月から1歳前後の乳幼児の子育て中の親子、「おしゃべり広場」については生後3か月から1歳前後、「親子交流講座」については絵本の読み聞かせや親子でリトミックを楽しむということで、大変好評をいただいております。参加人数もご覧いただいているとおりで、一番下のほうの子育て交流講座については人数の集計が間に合わなかったところですが、今申し上げさせていただくと、5月31日開催の「親子でリトミックを楽しむ」のところは、参加人数が38名で、男が10名、女が9名、保護者が19名ということで参加をいただいているところでございます。一つ遡りまして、下から2番目の「おしゃべり広場」につきましても、6月2日の参加人数30名、内訳としては男が5名、女が10名、保護者が女性15名でございます。

次のページをお願いいたします。「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、4月23日に1回目を迎え、全部で23回シリーズということで、千葉県障がい者スポーツ協会の指導者を講師としてお迎えし、体にやさしい健康体操を実践しているものでございます。毎回参加人数が約50名を超える大変人気の高い講座でもございまして、季節的に気候もちょうどよく、講堂という広い中で皆さんと声をかけ合い、体を動かしながら生きがいつくりということで進めている事業でございます。

続きまして、「初めてのスマホ体験『かんたん入門編』」、その次の「初めてのスマホ体験『スマホの使い方とネットでお買い物体験』」、さらにその下の「初めてのスマホ体験『Zoom入門編』」、3本続けてお話をさせていただきます。

いずれもデジタルデバйд対策としての事業を今年も展開させていただく中で、スマホの基本操作であったり、ネットでの買い物を実際に体験していただいたり、最後のZoom入門編につきましては、各参加者がゲスト参加での操作方法、つまりは招待された立場で参加して、実際に体験できるといった講座を展開させていただいております。どれも定員いっぱいの参加をいただいている中で、当日欠席の方もいるところではございます

が、大変人気の高い講座で、受講された後の感想におきましても、「大変参考になった」という声が寄せられている状況でございます。

「スプリングコンサート」、これは前回の会議でもお話しさせていただきました、評価のほうにも書かせていただいておりますが、ハープコンサートということで、ふれあいコンサートを開催したものでございます。ハープの音色を楽しんで、乳幼児もお母さんたちも一緒に参加できたという事業でございます。

高齢者大学、「福寿大学」ということで、5月19日に第1回目を迎えました。ほとんど欠席もなく、82名の出席をいただきました。1回目のテーマは「歴史の楽しみ方」ということで、郷土資料館の職員に講師としておいでいただきました、歴史の楽しみ方についてお話をいただきました。

特に、「時代劇の見方が変わる？」というテーマであったのですが、講師のほうから歴史を楽しむためにはということで3つのことをお話しいただきました。1つ目は、自分なりの発見があると楽しいですよ。教えられるだけではつまらないですよ。2番目は、知らなかったことを知れると楽しいですよ。時代や地域のイメージを持てると楽しいですね。3番目は、注目されていない資料からの気づきはとてもうれしいですね。こういった気づきの観点で楽しさを発見して歴史というものを学んでいくと楽しいですね、というようなお話をいただいたところでございます。

「介護予防教室」につきましては、6月7日に筋力アップ運動、フレイル予防講話ということで、株式会社ティップネス指導員の講師の方をお招きして、椅子に座っての筋力アップ運動ということで楽しく体を動かすことができました。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましても、これは保健所健康づくり課との共催事業で、65歳以上の市民を対象に健康づくり。今回はシルバーリハビリ体操ということで、簡単な体操をしながら健康づくりに寄与する事業を展開したところでございます。

その他、「卓球開放」につきましては、4月、5月、各10人ずつの参加をいただいたところでございます。

「子ども日本語教室」につきましては、次のページにまたがって申し訳ございません、5月、6月ということで、それぞれの日にちに開催して、空欄の5月28日には4名、6月4日には3名の出席をいただいたところでございます。

東部公民館からは以上でございます。

#### ○大塚委員長

それでは、三田公民館長さん、お願いいたします。

#### ○三田公民館長

三田公民館が4月1日から6月8日までに実施した事業について、ご報告いたします。まず、青少年の「ハッピーサタデー事業」でございますが、4月は講師にフラワーマ

ドバイザーの高橋かおり先生をお招きいたしまして、カーネーションで犬のプードルをつくりました。花材は皆同じものですが、子供たちの個性あふれるかわいい作品ができました。当日は青少年相談員に事業サポートとしてご協力いただきました。5月の「楽しいゲームとロープワーク」は、ボーイスカウト船橋第9団が講師となり、チェーンノット、本結びなど、ロープの結び方を習った後、3チーム対抗戦で宇宙から落下した危険物質を除去するミッションゲームに挑戦しました。危険物質に見立てたペットボトルを、各自結んだロープの先にある大きな輪ゴムに引っ掛け、持ち上げ移動する速さを競い合いました。学校や学年を超えて楽しく交流することができました。

続いて、成人対象として「社会教育関係団体説明会」を行いました。37団体中35団体36人が参加し、社会教育関係団体の活動報告書などの記入方法、公民館の利用などについて、改めて確認することができました。

次は、「楽しく体験しよう！メルカリ教室」です。メルカリは、不要になったものを売りたい人と、それを購入したい人をつなぐインターネット上のサービスですが、今回は自宅で不要になったものをお持ちいただき、スマートフォンを使って実際に出品体験を行うとともに、出品する上でのコツなどを教わりました。資源を有効活用する良いきっかけとなる講座となりました。

次は、生涯学習コーディネーターの皆さんとの協働事業「三田セミナー パート1 テーマは古典文学への誘い！」です。1回目と2回目は、講師にNPO法人ちば文芸フォーラムの近藤文子先生をお招きし、日本の元号の成り立ちと時代背景、平家物語入門の講義を行っていただき、3回目は公開講座として定員を20名追加募集し、千葉県琵琶楽連盟の皆さんによる琵琶の演奏会を行いました。ちょうど大河ドラマで壇ノ浦の戦いが描かれていたこともあり、皆さん大変興味を持って熱心に受講されていました。6月3日の参加人数が入っておりませんので、ここでお伝えいたします。男性が12名、女性32名、計44名でした。

続いて、高齢者事業です。三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業「三田老協囲碁・将棋大会」は、コロナ感染症予防により中止となりました。

健康づくり課との共催事業「ふなばしシルバリーハビリ体操教室」と「三田寿大学」は記載のとおり実施いたしました。三田寿大学の今年度の最初の講座は、下総三山七年祭りの映像をご覧いただき、お祭りは昨年実施年だったのですが、コロナで神事のみで開催となったため、地域の伝統あるお祭りを忘れないよう振り返っていただければと考え、実施いたしました。受講者からは、「地元なので見に行ったことはあったが、お祭りがどのように進められていくか今回よく分かった」との声も聞かれ、好評でした。

続きまして、その他の事業、「土曜卓球開放」は、記載のとおり毎月第1土曜日に実施いたしました。6月4日の参加人数が入っていないのでお伝えいたします。男性5名、女性13名、計18名でした。

三田公民館の事業報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の令和4年4月1日から6月8日までの事業報告をいたします。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」を4月21日に第1回実行委員会を習志野台地区青少年関係団体のご出席をいただき行い、5月14日に習志野台地区スポーツ推進委員会による「軽スポーツにチャレンジ」を行いました。当日は午後からの開催でしたが、午前中に雨が降るなど天候の影響もあり、予想以上に多くの方の出席をいただきました。種目は輪投げから始まり大豆つかみのような小さいものまで様々あり、親子で楽しんでいる姿が見られました。

次に、成人事業ですが、「家庭教育セミナー」では、赤ちゃんごきげんベビーマッサージを習志野台児童ホーム集会室において行いました。2部構成で各7組の定員で行いました。

また、「社会教育関係団体説明会」を41団体43名の出席により行いました。役員の変更等もあることから、公民館の使い方、社会教育関係団体の望ましい在り方、こちらは教育委員会のほうから資料が出ておりますので、それを使用しました。また、社会教育関係団体報告書の記載の説明等を行い、今年度の文化祭についても、皆さんにアンケートを行う方向というようなこともお伝えしてございます。

ページ変わります、「地域再発見講座」でございます。こちらは北習志野駅前から船橋日大駅前まで約3時間かけて散策をいたしました。今年も坪井の森緑地でキンラン・ギンランを見ることができたということでございます。

次に、高齢者事業でございます。人数の記入をお願いいたします。2項目めの「ハッピーサロン」の最終6月6日の参加人数でございますが、総数が8、男0、女8でございます。

「習志野台寿大学」については、開講式と習志野台寿コンサートとして行いました。コンサートは、例年ですと講師と一緒に皆さんが歌うという姿が見られましたが、今年については手拍子等の参加となりました。

そのほか、「ハッピーサロン」、「ふなばしシルバーリハビリ体操」等を行いました。

ページ変わります、「習老協支援事業」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため集会での総会は中止となり、表決による総会を行ってまいりました。

最後に、その他事業でございますが、人数の記載をお願いいたします。「おもちゃの病院」の最終6月4日でございます。参加人数は総数で14、男9、女5でございます。

毎月第1土曜日開催の「おもちゃの病院」、第2・第4金曜日開催の「将棋開放」、



第3日曜日開催の「卓球開放」を行っております。「将棋開放」「卓球開放」については、昨年度に引き続き、定員を将棋のほうが10、卓球が20人と設けまして開催しております。

以上が習志野台公民館の事業報告でございます。よろしくお願いいたします。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、飯山満公民館さん、よろしくお願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の4月1日から6月8日までの事業について、ご報告させていただきます。

まず、青少年事業の「ハッピーサタデー事業」ですが、年間を通して全9回のうち、初回の5月14日は、二宮・飯山満地区スポーツ推進委員協議会の方に講師をお願いし、ペタンク大会を開催しました。以前にもペタンク教室を開催していましたが、今回は小学生同士、親子など、二人一組で試合形式で行ったところ、大盛り上がりでした。報告には小学生の人数のみ記載しましたが、保護者も合わせ20名10組で競うことができました。

次に、成人事業でございます。「剪定講習会」は、二宮・飯山満地区社会福祉協議会との共催事業で、毎年好評の事業ですが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3年ぶりの開催になりました。広報と町会への回覧と両方で募集をかけた結果、応募者多数で、講師のご厚意で定員を上回っての開催としましたが、公民館の庭木を利用した説明が、人数が多すぎて講師の声が端の人まで届かない状況となってしまいました。参加者数や開催時間など、今回の反省をもとに次回開催を考えたいと思います。

次に、「知らない私を見つけよう！」です。3回中の1回目の6月1日は、笑い文字普及協会上級講師による「笑い文字で『ありがとう』を書いてみよう」でした。人数の記入をお願いいたします。男0、女20、合計20名です。専用の筆ペンを使って文字の書き方、顔の書き方を順序立てて教えてもらい、講座の最後には、全員が笑い文字ですてきな「ありがとう」が書いていました。アンケートでも、全員が「楽しかった」「笑顔になれた」と好評価でした。また、公民館に足を踏み入れたことがない40～50代の方もたくさん来てくれたので、公民館を知らない方たちを取り込むことの狙いも達成できた気がします。

6月8日の人数の記入をお願いいたします。こちらも男0、女20で、合計20名です。6月8日、昨日ですが、スパイスハーブコーディネーター、薬膳コーディネーターの資格を持つ講師をお招きし、「発酵とは」、「麴の効能や効果について」をお話しいただき、塩麴とトマト麴の2種類をつくりました。つくった麴は10日たないと食べられないのですが、講師が事前につくっておいた麴をキュウリにもみ込んだりお豆腐にか

けたりして試食もさせていただきました。参加者からたくさんの質問が出て、充実した講座となりました。

次に、「デジタルデバイド対策講座 かんたん入門編」です。たくさんの方に参加してもらいたく今年度5回開催予定の1回目です。今年度も昨年度と同じくキャンセル待ちが出るほどの人気でした。参加者には90歳代の方もおり、分からないところはすぐに質問するなど、皆さん意欲的に取り組んでおりました。

次のページに行きまして、「ゆびとま子育てサロン」です。こちらも地区社会福祉協議会と共催で毎年行っております。5月はリトミックと英語の絵本の読み聞かせです。久々の開催となったので、子供も保護者も喜んで参加していました。

次に、高齢者の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。6月6日の人数の記入をお願いします。男2、女10、合計12名でした。館独自でチラシを作成し、掲示板に貼ったりしてみたのですが、4月は前回ご報告したとおり雨がひどかったせいか、参加者は3名でした。6月6日も朝から雨がひどく心配しておりましたが、12名の方に来ていただき、皆さんそれぞれに真剣に取り組まれていました。今後も周知に力を入れていこうと思っております。

次に、「飯山満寿大学」です。今年度は90名定員の予定でしたが、ちょっと手違いで89名定員になりました。1回目の参加者は89名のうち79名でした。郷土資料館職員による飯山満の歴史と文化財についてのお話でしたが、講師が考古学専門ということで、飯山満近くにある取掛西貝塚について詳しくお話をしていただきました。

次に、「シルバー男性料理教室」です。こちらも地区社会福祉協議会と共催事業です。3年ぶりの開催となり、皆さん張り切って参加されておりました。市社協からの指示で、つくったものは持ち帰りとなっております。

最後に、「社会教育関係団体研修会」です。中間報告の年なので書類提出のみでもよかったのですが、コロナ禍により3年ぶりの開催となったため、社会教育関係団体の在り方や館としてお願いしたいことなどを聞いていただきたく開催いたしました。文書のみだとなかなか読んでいただけないので、じかにいろいろお話ができてよかったと思っております。活動報告の書き方もしっかり説明できたので、来年の申請書記入時の参考にもなると思います。

飯山満公民館からは以上です。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、薬円台公民館さん、お願いいたします。

#### ○薬円台公民館長

薬円台公民館の令和4年4月1日から6月8日までの事業について報告をいたします。まず、成人事業になります。シニア向けのスマホ初心者への「スマートフォン講習会」

を開催いたしました。欠席もなく、申し込まれた全員の参加となりました。7名はスマホ所持者、3名の方が持っていない方でした。70代が8人、60代が1人、80代が1名でした。アンケートでは、「難しかった」が2人、「ちょうどよかった」が8人となりました。時間いっぱいまで各自のスマホで分からないことについて質問が出されておりました。

次に、高齢者事業となります。「やくえんだい福寿大学」の開講式と、1回目の講座を開催いたしました。当日5名の企画委員が準備受付、後片づけなどを積極的に行い、71名の参加者をうまく誘導し、混乱なく講座を始めることができました。1回目はお薬の話でしたが、一人から質問が出ると矢継ぎ早に質問が出され、身近な内容であったと感じられました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。2部制でしたが、1部が1名、2部が6名となりました。この日はお昼ごろに激しい雨が降るとの予報があり、少なかったと推測されます。しかしながら、実際雨のほうはそれほど強くなく、2部から少し増え、皆さん安全に帰られました。

その他事業です。「カンガルーぼっけ」になります。保護者の方を含め9名の参加となりました。タオルでくまさんなどの人形をつくり、ボランティアと保護者の方が和やかに楽しく過ごしました。材料も手持ちのタオルで簡単につくることができ、子供たちも早速人形を使って遊んでおりました。

続きまして、「社会教育関係団体研修会」ですが、3年ぶりの開催となりました。サークルの在り方や公民館の利用、活動報告の作成などについて説明いたしました。

続きまして、「地域緑化支援事業」になります。6月4日に薬園台駅前花壇と線路沿いの三角花壇にたくさんの花を植えました。天候が不安定で実施できるのかやきもきしておりましたが、当日は晴天でした。約20名のボランティアさんが一生懸命植えてくださり、すてきな花壇となりました。

最後に、お手元に館報を配らせていただきました。6月1日の新聞折り込みで、久しぶりに地域のほうに配布させていただきました。読みやすいというようにお声などもいただいております。

薬園台公民館からは以上でございます。

#### ○大塚委員長

全館の事業報告をいただきました。ありがとうございました。

それでは、委員の皆様、質問またはご意見がございましたらお願いしたいのですが、いかがでございましょうか。

#### ○牧野委員

飯山満公民館さんにお伺いします「知らない私を見つけよう！」の参加者が40～50代の今まで見えなかったような方がみえたという話でしたけれども、何かなさったのです

か。

○飯山満公民館長

先生が先に笑い文字で「はさま」と書いてくれたのをエレベーター横に貼りまして、6月に講座をやりますという旨を横に書かせていただきました。また、館報でお知らせしたのですが、「カラーコーディネート」や「発酵調味料」という題材も若い方の興味を引いたのだと思います。先の「笑い文字」についてですが、講師の先生から船橋市の皆さんに元気になってほしいということで、「船橋市（ふなばし）」という字を書いて船橋市に送りたいという旨を市民の声を聞く課にお話をいただいて、市長に表敬することになりまして、「船橋市」という文字と一緒に市長に「松戸徹（まつどとおる）」という名前も書いていただきました。

○大塚委員長

委員の方、ほかに何か。事業報告について。

どうぞ。

○加瀬委員

飯山満公民館さんにお伺いしたいのですけれども、シルバー男性料理教室、実習してございますよね。つくったお料理はその場で食べられたのですか。テイクアウトですか。

○飯山満公民館長

市の社会福祉協議会からの指示で、持ち帰ってくださいということでした。

○加瀬委員

テイクアウトで。

○飯山満公民館長

今までは食べられたのですが、今回は持ち帰りでした。

○加瀬委員

その場で食べるのと持ち帰るのと、料理を考えなければいけないんですよ。それで実は東部もまだできないでいます。ありがとうございます。

○飯山満公民館長

今のところ、公民館としては黙食はオーケーなんですよね。しゃべらないで食べるのはオーケーですけども、それじゃ楽しくないですね。

○本間委員

でも、飯山満公民館さんの発酵調味料のほうは、先生が持ってきたものは食べられたのでしょうか？

○飯山満公民館長

そうです。本当に一口ずつみたいな形で、その場でちょっとつまんでいただきました。

○本間委員

それならうれしいわね。

○飯山満公民館長

それで、お話しするときは、またマスクをしてという形で。

○大塚委員長

なかなか難しいですね。今の時代ですからね。確かに味わいたいけれども、その辺はやっぱりルールだから残念ですけども、という話になってしまうんでしょうね。何しろ早く終わってくれないと皆さんも大変だろうと思います。

あとはどうでしょうか。

○本間委員

社会教育関係団体説明会というのは、毎年やっているんですか。ごめんなさい、本当に知らなくて。そこで登録して、利用するにはこういうふうなやり方よというのを教えている。新しい方ではなくて、ずっとやっている方たちがいらっしゃるわけですか。

○飯山満公民館長

2年に1回登録なんです。今年は中間報告の年で、毎回会長さんや会計さんも代わるので、活動報告とか決算書の書き方をちゃんと指導してあげないと、また来年、社会教育課に提出するときいろいろチェックが入るので、そこを間違えないようにというお話と、公民館としての気をつけていただきたいことを一緒にお話ししております。

○本間委員

私もなかなか利用できないのですが、見ていたら、やっぱり健康関係のシルバー何とかというのはみんな来るんだなと思いながら、1回ぐらい参加してみたいなど。行けなくてごめんなさいだけでも、やっぱりそういうふうに興味を持ちます。

これは単発でやるときの参加人数と連続で1、2、3と入っているのと、どれぐらい多いですか。連続で登録している人たちというのは、3回シリーズになっていると多いですか。

○飯山満公民館長

学級講座と集会講座ですね。女性セミナーみたいなものは、やはり3回ぐらいでやるとすごく皆さん集まってくれます。ただ、どんな講座も学級講座にしまうと、1回しか来れない方もいらっしゃるので、テーマや参加対象により、学級講座と集会講座を使い分けていくということになります。

○本間委員

例えば、3回参加できないと駄目ですよというふうにお知らせするのですか。

○飯山満公民館長

お知らせしています。こういうシリーズ物は3回できることが条件ですという形でお知らせしています。

○本間委員

難しいですね。その内容によって、これだけ参加したいという人もいらっしゃると思

うのに、これ全部出ないといけないと思うと、「ああ」なんて感じになってしまう。

○大塚委員長

一人一人思いが違うものですから、シリーズで3回来てくれたらいいけれども、だからといって常に数回というのはなかなかできない。個人の方から結構電話がかかってきて、自分の思いをどうしても伝えたいということで、「何で3回なの、1回でできないの」とか、そういう話になってしまうところがあるので、館長さんというのは、そういうときに大変なんです。穏やかに終わってほしいという部分があるので。

○本間委員

あと、人数のデータをちょっと聞けなかった。やっぱり女性のほうが参加が多いというイメージしかないのですが、やっぱりそうですか。

○飯山満公民館長

そうですね、間違いなく。

○本間委員

夜間の講座があると男の人が来るということもなく。

○飯山満公民館長

そんなことはないと思いますね。

○大塚委員長

基本的に興味を持つか持たないかということが大きい問題なんです。ですから、身近に「あ、これだったら」というところがあるかないかというのも一つの要素になっています。だからといって、市民の方が興味のあるものをやるといっても、公民館の皆さん悩みを持ちながらやっていただいているというところですね。

○蠣崎委員

剪定のところは男の方が多かったですね。女性がとか男性がとか今は言うてはいけないのかもしれないですけども、えてして男の方って地域での横のつながりが女性よりはる大分薄いのだと思います。お仕事をずっとされてきて突然定年とかになって、さあ地域に入っていこうといったときに、「友達いないぞ、どうしよう」みたいになって、行けばいいでんでしょうけれども、やっぱり今まで会社で培ってきた上のほうにいたプライドが許さないのか、「初めまして」というのがなかなか男の方って難しいのかなと思います。ふだんご自分のお庭でやって自信のあるものについては、多分「よし、行くか」となるのでしょうけれども。健康体操なんかも行かればいいのか、もったいないなと思いますが、女性のほうがお元気なんでしょうね。

○大塚委員長

内容によっては会話が弾むじゃないですか。男性というのは、自分から声を出したり一緒になってやろうという意識が少ないものですから、なかなかグループの中でというのがないし、また古い人がいるところに新しい人が入ったときに、すぐ仲良くなれるか

という、そんな簡単なものではないですよ。そこが一番難しいところで、その人たちを仲良くさせるコーディネーターがいればいいんです。こっちの会話とこっちが違えば、この間をとってこんな会話をということで進めてもらえる人がいるとすごく和やかなんです。そうは言っても、10人集まればみんなそれぞれ考え方が違って、うまくいくときもあるけれども、黙って帰る人がおられるものですから。

○蠣崎委員

もったいないですよ。ちょっと話が脱線してしまうかもしれませんが、いつも朝、子供たちの見守りをしてくださっている方が、どうしても手が足りなくなってきた、「あそこにいっぱいいるじゃん、元気なおじいちゃんたち」と思うんですけれども、どんなに声をかけてもなかなか出してもらえないんですよ。

○大塚委員長

逆に私は、奥様方に自分のご主人が人と会話できるような雰囲気を持っていくと、またちょっと違うと思うんですよ。できればご夫婦を集めて一緒になってやるとか、何か新しいアイデアで、口が下手なご主人を少し会話をさせていただければありがたいなど。

○蠣崎委員

でもそこは大事ですよ。それでも奥さんのほうがどんどん行って、結局、旦那さんは置いてきぼりになってしまって、「あんた、もういいわ」みたいになってしまうとあれだしね。

○大塚委員長

それで駄目だからといって終わってしまうと駄目なんですよ。いずれにしても気長にやるということです。話が好きな人はいくらでもやれるんですが、大体において年配の方というのは話が短くなるかと、自分の趣味はやるけれども、人との会話がだんだん少なくなってくるんですよ。男としてよく分かりますよ。

どうですか、吉田さん、今の話。

○吉田委員

そのとおりです。自分の育ってきたところの範囲というのはよく分かるけれども、それ以外というのはなかなか。私は若い頃からこういう関係をやっているんで、入るのはどうってことないですけども、会社とか役所とかとなれば、どうしても男はその範囲内。それで、どちらかというと、あまり話しかけたいと思わないんですね。知らない人には。

○大塚委員長

今言われたように、もしかしたら、その役割だから話をして、それで皆さんにというのはあるでしょうけれども、同じように息が合っていることではなかなか難しいかもしれませんよね。なぜかといったら、皆さん会社なりいろんなところでやったときに、

必ずそこにどうしても上下があるわけですね。

我々も新しい方と一緒にこういうところで結構長くやらせていただいているのですが、やっぱり初めはどうしても様子を見たり、ちょっと言えないとか遠慮するという部分があるので、打ち解けるまで結構時間がかかるときもあると思います。

○加瀬委員

33歳でPTA会長を受けたときに、先輩の会長さんに、「加瀬さん、とにかく人の話は全部聞きなさい」と。皆さんの意見を全部聞いて、言うことがなくなるまで聞いて、最後に自分の考えを通せばいいと教わったんです。

○大塚委員長

どれがいい悪いではない。ただ、できれば男性の皆さんもその場その場に応じた会話だとかコミュニケーションの取り方を少し知っておいたほうがいいというような今の時代だろうと思います。それにはやっぱり初めの取っつき方がないと、ただこれをやりまわすと言っても聞いているだけです。自分たちがそこに入れる何かのヒントがないと入れないわけですね。一つの仲間のクラブがあって、年齢の高い方が初めてそこに入ったときに、初めは黙っているじゃないですか。何か言ったら「あいつ何だよ、新しく入ってきたのにいちいちしゃべってうるさいな」なんて話になってしまうわけで、難しいですね。

こういう話はいつまでも続きますので、次に、公民館の事業報告について採決を採らせていただきます。

○牧野委員

すみません、まだ伺いたいことがあります。

○大塚委員長

はい、どうぞ。

○牧野委員

薬円台さんで館報を久しぶりにお出しになったということですが、館報は新聞に入れるとおっしゃいましたね。

○薬円台公民館長

はい。

○牧野委員

どの新聞、全紙5紙、どこまで入れるのでしょうか。

○飯山満公民館長

飯山満の場合は、読売、朝日、千葉日報まで入ります。

○習志野台公民館長

館によって違います。例えば習志野台なら千葉日報に入れるとか、今はミニコミ紙でいえば「ちいき新聞」とかもありますので、そういうところにやる場合もあると思いま



す。館によって違います。

○牧野委員

それぞれ任されているということでしょうかね。うちは日経しか取っていないので、入ってこなかったというのを知らなかったです。

それをもう一つ進めますと、今若い人はネットで新聞を取っていますよね。それにはさすがに入らないですよね。あとは、広報というのはどうなっているんですか。

○飯山満公民館長

広報も新聞と一緒に配られます。

○牧野委員

新聞と一緒に入りますよね。

○飯山満公民館長

新聞を取っていない人は公民館に置いてあるので、いつでも取りに来てくださいという形になっています。

○本間委員

駅に置いてありますね。

○飯山満公民館長

あと、申し込むと個人宅に届けてくださるそうです。新聞を取っていなくても。

○牧野委員

そうすると、特に若いうちの子供たちの状態を見ていると、結構ネットで取っている。よって、子供の工作のときの新聞がないからちょうだいなんて、そういうことになってしまうんですよね。とすると、広報が必ずしも全員に届いていない。若い人に特に届いていない。

○飯山満公民館長

そうですね、新聞取っていないですものね。

○牧野委員

駅に置いてありますけれども、それをちゃんと取るかというところがちょっと難しいので、その辺の考え方もちょっと進めないと、せっかくいいことを皆さん考えてやっているのに、広がっていかないのではないかと思います。

○飯山満公民館長

若い人たちには、うちは今オンライン申請で、二次元コードでやれるようにホームページとかで募集しているので、そっちのほうからの申し込みが多かったりします。

○牧野委員

そうですね。

○大塚委員長

いろんなところで昔に比べれば見られるようになりましたよね。市のホームページも

見られるし。そうは言っても全てにやるというのはなかなか。

あとはよろしいですか。

それでは、公民館事業報告について、一括して採決を採らせていただくのが今までの恒例になっておりますので、その方法でやらせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、各公民館一括して承認の採決を採ることといたしますので、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。全員挙手で承認をいただきました。

それでは、続きまして、各公民館さんの事業計画のほうに移らせていただきます。

まず、東部公民館さん、お願いいたします。

#### ○東部公民館長

令和4年度東部公民館事業計画というページから始めさせていただきます。

まず最初に、青少年の事業で「ハッピーサタデー事業」でございます。6月、7月が2回、9月ということでの内容をお示ししてございます。6月は軽スポーツフェアということで、輪投げとかダーツ、ペットボトルダーツなどの遊びをメインとした内容で、前原地区スポーツ推進委員会の方々のご協力をいただきながら開催するものでございます。7月につきましては、工作と昔あそび、絵本の読み聞かせということで開催し、7月23日については、前原児童ホームで「前原商店～夏まつり～」、これは児童ホームの中で遊びのコーナーを開設し、ゲームコーナーや工作コーナーを開催し、交流を楽しむものでございます。最後の9月17日のデイキャンプにつきましては、青少年相談員東部ブロックさんのご協力をいただきながら、大神保青少年キャンプ場にてデイキャンプを開催するものでございます。

続きまして、成人の「子育てサロン『アイアイ』」、次の「子育てサロン『ランラン』」につきましては、「アイアイ」については生後4か月から1歳前後、「ランラン」については1歳から3歳程度の親子ということで、ヨガを楽しんだり、本日6月9日の午前中にランランの「親子で楽しむリトミック」を開催したところでございます。

本日開催した「親子で楽しむリトミック」につきましては、6組12人の方にご参加いただきまして、ピアノの音楽に合わせて「ぞうさんの歌」を歌ったり、「チューリップの歌」を歌ったり、シフォンという布切れをぐるぐる振り回して親子で楽しむような遊びを楽しんでおりました。親子が6組集った中、楽しい雰囲気の中で、遊びながらほかの親子さんたちとの交流が楽しめたのではないかと考えております。

次のページでございます。「子育て支援事業『親子交流講座』」につきましては、7回シリーズの3回目で、6月28日に前原児童ホームにて絵本の読み聞かせを行うものでございます。

続きまして、「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、これも23回シリーズの中の6月から9月まで月に2回ずつの講座として引き続き開催するものでございます。

続きまして、初めてのスマホ体験シリーズの「かんたん入門編」、その下に「やさしい基本編」と、次のページの「スマホの基本とLINE体験」、「はじめてのオンライン体験『Zoom入門編』」ということで4本続けて掲載させていただいております。どれも先ほど申しましたデジタルデバイス対策ということの中で開催するものでございます。

続きまして、「初対面でも楽しく話せる 雑談力養成講座」。この講座につきましては昨年度も開催させていただいている内容でございます、毎日曜日に開催するものでございます。昨年度は、20代から70代までの幅広い年齢層の参加をいただいているところでございます。お仕事を持っている人、学生さん、そういった方々がこういった公民館講座を通して会話の技術、知識を学んでいただけるということで予定している講座でございます。

続きまして、「日本伝統芸能 浄瑠璃（義太夫）の魅力にふれよう」という講座を開催するものでございます。この講座は3回シリーズでございます。この講座につきましては、去年、ふなばし音楽フェスティバルの一環としまして地域ふれあいコンサートを開催しました。その中で人形浄瑠璃を2月19日に開催し、大変好評だったことから、この浄瑠璃を題材としての講座ができないかということで、いろいろと打ち合わせを進めてまいりまして、今回9月に開催するものでございます。

この講座の内容については、「浄瑠璃（義太夫）についての学習」と書いてありますがけれども、講師の方に三味線をお持ちいただきまして、生の三味線の演奏を聴いていただきながら受講生の皆さんが物語を自分の声で語ってみる。一緒に浄瑠璃を楽しむ学習会ということで、予定している講座でございます。

続きまして、高齢者の「福寿大学」につきましては、6月、7月、9月と予定を入れております。交通安全と防犯講話につきましては、来週6月16日に開催するところですが、警察の方をお招きして、交通安全、特に自転車での事故が多発して大事故にもつながるということが最近新聞でも取り上げられております。自転車安全運転のこととか、または振り込め詐欺の防犯につきまして、お話をいただく予定でございます。7月は音楽について、9月は国際交流（タイの文化）についてのご講演をいただく予定となっております。

次のページをお願いいたします。「介護予防教室」につきましても、これも保健所健康づくり課との共催で、5回シリーズの2回目は、6月14日に転倒予防体操、筋力アップ運動、6月28日は栄養の観点からということのお話もいただく中で、簡単に体を動かす、手指を動かす体操を取り入れる。7月5日については、お口の体操とか全身ストレッチということで、介護予防につながることを目的に事業を展開するものでございます。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、6回シリーズの2回目ということで、引き続き介護予防のためにシルバーリハビリ体操を行うものでございます。

その他の欄でございます。「社会教育関係団体研修会」は、私ども東部公民館では、当初4月にコロナ禍の影響で、登録団体数が100団体ということでもあることから、4月は見送らせていただいたところですが、このところコロナの状況も落ち着いてきたことから、このたび6月11日に開催するものでございます。

続きまして、「親子で楽しむおはなし会」につきましては、全5回シリーズで、未就学児と保護者が一緒に参加した中で、絵本の読み聞かせや手遊びを楽しむものでございます。

続きまして、「家族で楽しく！iPadではじめてのプログラミング体験『アプリを作ろう』」ということで、これは小学生を対象として、プログラミングを体験しながら論理的知識を身につける講座ということで、夏休み期間中の8月19日に開催するものでございます。

「卓球開放」、「子ども日本語教室」については、以下の日程で開催するものでございます。

以上でございます。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館さん、お願いします。

#### ○三田公民館長

三田公民館の令和4年6月9日から9月21日までの事業計画について、ご説明いたします。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」、6月18日につきましては、三田習志野地区スポーツ推進委員を講師に招き、「軽スポーツ楽しく遊ぼう！室内雪合戦」を実施いたします。丸めた軍手を雪の玉に見立てて投げ合い、陣地を取り合うゲームです。定員が30名となっておりますけれども、申し訳ございません、40名に訂正させていただきます。

そのほかの7月16日、7月23日、8月5日、9月17日も記載のとおりハッピーサタデー事業を予定しておりますけれども、詳しい内容につきましては、申し訳ございません、調整中でございます。

続きまして、成人への事業でございます。「世界を知ろう！～世界遺産の魅力～」は、世界遺産検定マイスターの片岡英夫先生を講師に迎え、7月7日と13日の2回にわたり様々な世界遺産をご紹介します。受講生の皆様には、いろいろな国の世界遺産の情景に思いをはせていただければと考えております。

続きまして、9月15日は、スマホ基本操作とLINEアプリについて学ぶ「スマホ活用

講座」を行います。昨年度も実施を予定しておりましたが、コロナで中止となつてしまったため、今年度実施することといたしました。

次は、今年度の新規事業でございます。講師に大屋陽向先生をお迎えし、「ヨガ教室」を3回実施してまいります。募集開始から40分ほどで定員となってしまうほどの人気でございました。

続きまして、高齢者事業です。「三田寿大学」の6月の消費者講座は、本日の実施となり、悪質商法や契約トラブル等の対処方法などについて学べる内容となっております。7月14日は市民安全推進課職員による交通安全教室を行います。高齢者が特に気をつけなければならないことを、具体的な例を交え講義をお願いしております。9月8日はアースドクターふなばしから講師をお招きし、地球温暖化とSDGsについてお話ししていただきます

続いて、6月16日と7月27日の2回で実施いたします「シニアスマホ入門講座」は、昨年度実施いたしましたところ、受講希望者がすごく多かったことでご参加いただけない方もいらしたことから、今年度も実施することといたしました。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり2か月に1回、6月21日と8月16日に開催予定です。

次に、その他の事業、「おひさまクラブ」は、6月15日にベビーマッサージ、7月6日は親子ピクスを行います。小さなお子さんを持つ親同士が情報交換をしながら交流を深めていただきたいと実施している事業でございます。

「土曜卓球開放」は、記載のスケジュールで実施してまいりたいと思います。

三田公民館からは以上でございます。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館さん、お願いいたします。

#### ○習志野台公民館長

習志野台公民館、令和4年6月9日から9月21日までの主な事業計画についてのご説明を申し上げます。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」を、6月はボーイスカウト船橋第14団による「段ボールで作るキャタピラー車対抗戦」、7月は習志野台地区青少年の環境を良くする市民の会によるマリンバコンサート、これはカラムスという男性二人のユニットによって行います。8月は習志野台児童ホームとの共催による子ども映画観賞会、9月はチョーク画を予定しております。どの事業も3年前に比べますと定員を減らしながらの開催となります。

また、「夏休み子ども将棋教室」は、ここ数年、藤井聡太5冠の人気もありまして、とても人気のある事業となっております。参加する子供たちの将棋の理解度というのは

それぞれあるのですが、積極的にいろいろ教わっている姿勢が見られております。

また、「夏休み子どもポスター教室」、「夏休み読書感想文講座」、これは東図書館との共催になります。

ページが変わりまして「夏休みエコ教室」は、夏休みの各宿題に対応したものとしての講座を企画してございます。

次に、成人事業でございます。「家庭教育セミナー」を習志野台児童ホームとの共催として行います。孤立しがちな子育て中の親御さんを楽しく支援していこうというものでございます。

また、「習志野台第一小学校PTA家庭教育セミナー」については、現在実施に向けて内容を検討中でございます。

次に、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」は、本日まさに今終わろうとしている時間帯ですが、本日については、地域安全推進課と東警察署の交通課と生活安全課、それと地域課の移動交番が大きなワンボックスカーで来ましたけれども、ご協力により行っております。

また、7月は石上瑠美子先生、松戸の市民劇団理事長という肩書きのある方で、いろいろやっていただけるのですが、この方の講談と、無声映画の弁士として公演をしていただくことになっております。

また、9月は船橋市歯科医師会にご協力をいただきまして講座を行います。

ページ変わりまして一番下、「習老協支援事業」については、現在、習志野台公民館区の老人クラブ連絡協議会さんのほうで実施に向けての協議がなされている最中でもございますので、実際には何件か中止となる可能性がある事業でございます。今のところ共催で行うことになっておりますので、記載してございます。

次に、その他事業でございます。第1土曜日開催の「おもちゃの病院」、第2・第4金曜日の「将棋開放」、第3日曜日開催の「卓球開放」、それと、この期間に入ってきます習志野台地区社会福祉協議会との共催事業でございます「子育てサロン」を行ってまいります。

主だったものでございますが、習志野台公民館の事業計画でございます。よろしくお願いたします。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、飯山満公民館さん、お願いたします。

#### ○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業計画をお話しさせていただきます。

初めに、青少年対象の「ハッピーサタデー事業」です。6月はボーイスカウト流キャンプ術&ゲームです。キャンプに役立つ豆知識やロープの結び方などと、キャンプ場で

できるゲームを紹介していただきます。7月はパラスポーツです。8月は毎年恒例の社会教育関係団体に講師をお願いして卓球教室を行います。9月は青少年相談員さんのご指導でプラバン教室を開催します。

次に、「iPadで学ぶプログラミング教室」です。小学校のプログラミング授業必修化に伴い、学習することで順序だてて考え、試行錯誤しながら物事を解決する力を養うことを狙いとしています。昨年度は親子で一組になり実施しましたがけれども、今年度は小学校高学年の児童を対象に考えています。

次に、「夏休み宿題応援企画 理科実験教室」です。千葉県立船橋東高等学校の理科部の顧問の先生と生徒さんに講師をお願いし、小学校高学年の自由研究のヒントになるよう、実験を行い、考え方を学んでもらおうと思っております。

次に、成人対象の「知らない私を見つけよう！」の第3回目で、「パーソナルカラーセミナーで私色を見つけよう！」です。日本カラーコーディネーター協会に講師をお願いしています。手鏡を持って、自分の瞳の色で似合う色を見つけるそうです。

次のページに行きまして、「デジタルデバインド対策講座 かんたん入門編」、これはスマホ講座の5回のうちの2回目です。

次に、「大人だって地震はこわい！大人の起震車体験&防災食試食会」です。令和元年度に行った公民館利用者対象生涯学習に関するアンケートで、飯山満公民館区の方は「お住まいについて心配なことは？」の質問に、30%近い方が「災害対策」と答えております。災害に対する懸念が強い地域のため、地域の防災意識を高めることを狙いとしています。危機管理課より起震車を出してもらい、船橋東消防署芝山分署には講話と水消火器を貸していただき、実際に体験してもらいます。また、江崎グリコ株式会社よりビスコ保存缶と常備用カレーを、石井食品よりおかゆをいただいておりますので、カレーとビスコを試食し、おかゆはお土産に持って帰っていただく予定です。

次に、「家バルのススメ」です。プロのシェフによるお酒に合うおつまみづくりで、7月2日はビール編、16日はワイン編の2回講座ですが、こちらは1回のみ参加もオーケーとしています。この講座により公民館を知らない世代を呼び込むことと、利用率の低い実習室を使用することを狙いとしています。公民館はどんな講座を企画しても高齢者の応募が多いので、今回は65歳までの方を対象に募集をしたところ、現在募集中ですが、40～50代の男性、30～40代の女性など、幅広い年代が応募してくれています。これを機会に公民館のサークル活動や他の講座にも参加していただけるとよいなと思っております。

次に、高齢者対象の「飯山満寿大学」です。6月は、大河ドラマで話題の「鎌倉殿の13人」について、ドラマの進み具合に合わせてお話しして下さるそうです。7月は、前原おひさま整骨院院長による「健康になる歩き方」です。9月は、ミャンマーに駐在経験のある飯山満公民館生涯学習コーディネーターの方に、ミャンマーについてお話し

していただきます。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、8月に記載のとおり行います。

次の「総合型介護予防事業 すこやか健康教室」は、東京体育機器のインストラクターによる5回講座です。記載のとおり行います。

次に、二宮・飯山満地区社会福祉協議会と共催の「シルバー男性料理教室」です。すみません、訂正をお願いします。6月の欄にメニューを書いたのですが、これは5月に既に終了したメニューでした。ちなみに6月のメニューは、アスパラの豚肉ロール、ジャガイモのカレー粉炒め、ほうれん草のおひたし、あと、飾り切りの練習だそうです。

次に、その他の「ゆびとま子育てサロン」は記載のとおり行います。

最後に、ページをめくりまして「はさまミニコンサート」です。毎年恒例の当館社会教育関係団体のオーケストラによるコンサートになります。今年度は第23回になります。テーマはまだ検討中だそうです。

飯山満公民館は以上です。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、最後に薬円台公民館さん、お願いいたします。

#### ○薬円台公民館長

薬円台公民館の令和4年6月9日から9月21日までの事業計画についてご説明させていただきます。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」といたしまして、年間を通して全11回を予定しており、当該期間には6回実施いたします。初回は船橋市障がい者スポーツ協会の方に講師をお願いして、パラスポーツのボッチャを体験いたします。こちらは公民館窓口、電話にて受付しており、現在募集中です。南極体験学習は、南極の防寒着の体験などができる学習になっております。

続きまして、「学社連携事業 クラブ活動支援事業」になります。こちらは本館の社会教育関係団体である船橋芝六太鼓により、薬円台小学校太鼓クラブの指導を行います。

次に、成人事業でございます。「やくえんだい楽学講座」になります。7名の企画委員とともに企画・運営しており、歴史あり、健康あり、様々なジャンルで組み立て、全4回のコースとなります。令和2年度、3年度はコロナ感染状況により中止となり、3年ぶりの実施となります。現在、往復はがきで申し込みを受付中ですが、既に定員を超える申し込みをいただいております。

次のページになります。「薬円台ふれあいコンサート」になります。日程につきましては9月10日になりました。フルート、オカリナ、ピアノのコンサートとなります。

続きまして、「スマートフォン講習会」となります。スマホの基本とLINE体験になります。5月31日にシニア向けの初心者講座でLINEについても少し学習したことから、



次回のスマホ講座の案内にも興味を示していらっしゃる方がおられました。

高齢者事業となります。「やくえんたい福寿大学」の2回目から4回目までの講座となります。「やさしい仏像のはなし」「家族信託・成年後見を学ぶ」「無声映画を楽しもう」となっております。

続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。定期的な実施で健康づくり課との共催で実施いたします。

その他事業となります。「やくえんたい軽スポーツフェア」ですが、こちらも3年ぶりの実施となります。6月12日（日）に薬円台小学校の講堂と体育館で実施します。薬円台地区町会自治会連絡協議会、薬円台地区スポーツ推進委員、薬円台児童ホームと共催で、20名以上のスタッフで当日運営いたします。広い場所での実施、過去の参加人数や参加のしやすさなどを総合的に勘案し、感染対策も行えるということで自由参加いたしました。受付で健康チェックや消毒を行い、多くのスタッフで密にならないよう声かけ、消毒を行います。また、事前に気をつけなければいけない場面を洗い出し、対策を講じております。現在、雨予報であります。感染対策を講じながら楽しいイベントとなるよう努めてまいります。

続きまして、「カンガルーぽっけ」になります。親子のコミュニケーション、ふれあいを趣旨としたベビーマッサージや、人気のあるお昼寝アートを実施します。現在定員は埋まっており、キャンセル待ちとなっております。

最後に、「地域緑化支援事業」になります。6月4日に植え付けました花の管理を行ってまいります。

薬円台公民館からは以上となります。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

公民館全館からご説明をいただきました。委員の皆様、ご質問またはご意見ございましたらお願いいたします。

吉田さん、お願いします。

#### ○吉田委員

飯山満公民館さんの計画の中で、「大人だって地震はこわい！」という話の中で、30名という定員になっているようだけれども、どういう形での募集なのか。というのは、結構皆さん関心があって、行きたいという方がいるだろうなと思うので。

#### ○飯山満公民館長

人数は、起震車を1回動かして入れ替わるまで5分ぐらいかかるのだそうです。なので、その時間内に全部終わらすには、本当だと20名ぐらいがいいらしいのですが、消防署の方にまず30分ぐらい講話をしていただきまして、起震車と水消火器とを半々に分けてやっていこうと思っております。広報に載せたので電話と窓口で募集をしております。

すが、まだ定員には達していません、あともうちょっとです。どこも防災講座があまり人気がないようなんですね。なので、普通の防災講座だと来ないので、ここにちょっとお土産をつけてみました。

○吉田委員

うちの町会で防災訓練を必ず12月ぐらいにやっているのですが、要領はよく分かるんですけども、どういうふうな形でやられるのかなと思って質問をさせてもらったのですが、人数的な面では、まだ30名になっていないと。

○飯山満公民館長

あともうちょっとですね。20何名かな。あともうちょっとだと思います。

○吉田委員

分かりました。大体内容的にはそういう形でということですね。

○大塚委員長

そのほか、いかがでしょうか。

○本間委員

全体で3つ、4つほどあります。これは申し込みというのは、電話、あるいはさっきはがきとおっしゃっていましたが、あとは何かあるんですか。

○飯山満公民館長

さっき言っていた二次元コードですね。

○本間委員

二次元コードが一番早いですよね。スピード感がある。私もやるけど。

○飯山満公民館長

うちの場合は、ハッピーサタデー事業は親御さんが若くてみんな二次元コードで申し込むことができるので、それで全部募集しているのですが、普通の講座でそれをやってしまうと高齢者の方が難しいので、電話か窓口という形になっています。その対象により分けています。

○本間委員

人数がだんだんと増えてきて、コロナの関係もできてきたのでよくなったのかなと思ったら、100人も入れる講堂があるのかと。ここはあるかどうか分からないけれども、そういうこともあるので、それがちょっと気になりながら読んでいました。そういう申込方法のことだけ知りたかったのと、ここの備考の2/10とあるのは何ですか。

○飯山満公民館長

何回あるうちの何回目ということで、全10回のうちの2回目ということです。

○本間委員

わかりました。

それと、「iPadで学ぶプログラミング教室」のときは、iPadは自分で持ってくるんで

すか。

○飯山満公民館長

ソフトバンクが貸してくださいます。

○本間委員

今は小学校もみんな iPad も全部持ってきたりしているけど、貸していただけるということ。ならよかったです。

飯山満の「家バルのススメ」は、年齢層が低い、30代、40代とおっしゃっていたし、さっきの高齢者というか男性の方がなかなかコミュニケーションを取れないというから、ワインの教室とかをやればすぐ来るんじゃないのと思ったら、出ていました。

○飯山満公民館長

そうなんです。3時半から5時半というちょっと夕方にしてみました。お酒の講座なので。一応1本ずつアルコールをつけようと思っております。アルコールが飲めない人はノンアルコール飲料とかジュースにして。それこそ試食は黙食して、そのほかお話しするときはマスクをします。つくるまではもちろんマスクはしているので。

○本間委員

そういうことで男性の方がどんどん来ていただけるチャンスで、高齢者も入れるのかなと思います。大体飲むものを置いておけば絶対来る。飲みニケーションしかないので。すてきな企画かなと思って。ありがとうございます。

○大塚委員長

ありがとうございます。

ほかにどうですか。お願いします。

○牧野委員

例えば、「親子で楽しむおはなし会」というのが東部公民館さんでございますね。親子の年齢設定といますか、子供の年齢設定といますか、どんなものなんですか。幼稚園までですか。

○東部公民館長

親子の交流会については、そうですね。

○牧野委員

ただ時間的に10時半から11時だと幼稚園へ行っている。もっと小さい乳児ですか。

○事務局（事業担当）

未就学児を対象にしてはいるのですが、大体おはなし会に参加される方は幼稚園に入る前の方が多ということなので、時間帯はその設定としております。

○牧野委員

分かりました。うちの娘なんかを見ていますと、今はほとんど勤めていて、保育園に入れている。そうすると、あまり来る子がいなくなってしまうのではないかなど。なの

で、娘が言うには、習い事でも土曜日に重なってしょうがない。平日は連れていけないし、もうちょっと遅くやってくれるといいんだけど、そうでもないしという話で、こういうものも少し、日曜日の午前中にとか、そういうことを考えるのはいかがなものかと思ひまして、よろしくお願ひします。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○大塚委員長

よろしいですか。ほかはないですか。

私のほうから2つお聞きしたいことがあるのですが、前回ソフトバンクさんのいろいろな講座をやっておられますけれども、ソフトバンクさんの講座に来るときに、スマホを持っているよという方と、全然そういうのではなくて古い機械ですよという割合は、どのぐらいになるんですか。

○東部公民館長

把握はしていません。

○飯山満公民館長

飯山満の場合は、ほとんど皆さんスマホを持っていらっしゃいますね。持っていますけど……

○大塚委員長

やり方が分からないということですね。

○飯山満公民館長

そうです。

○大塚委員長

ということは、割に館でやっている方は持っているけれども、細かいやり方が分からないから教えてくださいということで、それだけ普及しているということですね。

前から、公民館としてそれをやることによって、ソフトバンク1社だけが、そこで初めての人が話を聞いたからおたくで買いたいという話になると、公民館としての問題があるかなと思うけれども、今の話を聞いていると、大体皆さん持っているけどやり方が分からないということで聞きたいということですね。ありがとうございました。

それから、東部公民館さんで昨年、車人形の浄瑠璃が大変好評だったのですが、あれは車人形という八王子が劇団を持っているのですけれども、人間が車に乗って浄瑠璃をやるのですが、今度のは浄瑠璃を自分で体験して発するということの講座ですね。

○東部公民館長

そうですね。自分の声で語ってみる。

○大塚委員長

なかなか難しいですね、この浄瑠璃を練習して発表するというのは。

○東部公民館長

生の三味線で音色を楽しみながらやれるということですね。

○大塚委員長

分かりました。

最後に、これは皆さんやっていないのでお聞きするのですが、先輩はここに加瀬さんがおられて、例えば、私とか加瀬さんは社会福祉協議会や青少年センターの委員になっています。今後、児童相談所が船橋市にできる予定という話を聞いていますが、基本的にデータを見ると、学校に行かないとか虐待だとか、こういう数値が大変高くなってきている。虐待の中でも保護者からの虐待というのが多くなっている。こういうことで、専門的な問題として社会福祉協議会だとか児童分科会だとか、そういうところで話を聞いているのですけれども、じゃあ実態はどうかということ、まだ僕は新しいので中身は分かりませんが、やっぱりこういうことは誰がではなくて、どういう実態かということ、それを広く知らせることが大事な部分と、それはちょっとやり過ぎだねという部分がありますけれども、非行化とか、そういう青少年のお子さんたちが、健全な生活をして社会に貢献できるように、そういう子供たちを多くつくっていかねばならないのは社会人としての役目だろうと思うんですね。

その場合に、一部の人、一部の委員の人、一部の教育者、そして市役所のそういう係の人たち、相談員さんがいるんですが、なかなかその全体像が見えていないのが現実で、冊子があったとしても、それは関係者だけが持っているのかどうか。こういう厳しい時代の中で子供たちを健全に、全ての人が暮らせるようになるのは難しいと思いますけれども、公民館として何かそれについて協力できるものがないかなと考えているんです。ただもうちょっと何らかの方法で、そういうものがこういう実態であるよということを広く市民に知らしめる方法はないのか。でもそれは人権問題があるよと言われてしまうと何もできない。実際に委員をやっている間に、何かいい方法がないかなと思っているのですが、なかなか難しい。

加瀬さん、どうでしょうか。

○加瀬委員

船橋市に児童相談所ができるのを、待ちに待ってはいるのですが、児童相談所が持っているデータとか資料にしても、個人情報が含まれるものですから、なかなか情報の共有は難しいです。じゃあどうしたらいいか。自分たちで勉強するしかないのかなというふうにも思いますけれども、我々が勉強するにしても限られた中でしかできない。だから、少なくとも児童相談所の方たちと、こういうときはこうですよというような経験談とかそういうものを聞いて、情報として入れて、それから勉強していくしか方法がないかなと思っています。

私、前にも話したかと思いますが、今、親が子供を虐待するというのがすごく増えて

いますよね。一宮に虐待を受けた子供たち専門の施設があるんですよ。保育園から高校生まで子供たちがいて、一部屋に12～13人で生活している施設があつて、日本で2番目に古いと言われてはいますが、そこにいる先生たちと色々な話をすると、親に虐待を受けて育った子供は、自分が親になると8割が虐待するんだそうですね。これはデータで残っているらしいです。自分が虐待を受けたのだから絶対やらないと普通は思いませんか。ところが、そうじゃないらしいですね。

私はその施設にお邪魔して話を聞いたんですけども、この運営審議会の中でそういうところへ行って勉強するのも、これから必要になってくるのかなと思います。

#### ○本間委員

児童養護施設恩寵園ですけれども、県内にもう20あります。あと2～3年後にもう2つぐらい増えるので22ぐらいあるのですが、先ほどのお話で、虐待されているのは一宮ばかりではなくて、はっきり言ってうちも約6割です。6割が虐待・プラス・ネグレクトというような現状で、うちは3歳から入って高校まで、今は延長して長くいられるようになってきて、延長しています。そこは本当にすごいです。すさまじい。虐待するのは実の母あるいは養父、結婚した相手の男の人とか、データのにはいっぱい出ていますが、やっぱり夫婦でも実の親のほうが多いことは確かです。

それから、今の負の連鎖ですけれども、負の連鎖も本当にあります。やっぱり同じような生き方をしています。卒業しても若年で妊娠して生まれて、またこういう感じで子供を養護施設に入れるということがデータになって出ています。

そういう中でやっているのですが、公民館で何をすればと今おっしゃっていましたが、私は実はベビーマッサージの資格を持っておりまして、葛飾とか西船の児童ホームで指導をしています。今日も午前中にやってこちらに来ました。ただベビーマッサージで、「これ、なあに」と思われているかもしれませんが、虐待防止の一番大事なとき、生まれてから1歳までの間に親子の触れ合いが一番大事なので、それでお母さんに教えているんです。これをやっていたら絶対いいわよと言ってやっていたんですけども、今日帰り際に「先生」と言うから、「えっ」と思ったら、「5～6年前に私はお兄ちゃんのときに教えてもらったんです」と言われて、お兄ちゃんはまだ5歳だったかな、今も「やって、やって」と言って、すごく落ち着いてよくなっている。「だから今日は2番目の子を連れてきました」と。

今のベビーマッサージなどの企画は、私は本当にいいと思います。その中で助産師さんがいろいろお話をしてくれるけれども、私はいつも別な話をします。児童養護施設に実はこういう子がいて、来たときは私が寝かせてあげるねといって触ろうとしたら、絶対離れました。そこからできていなかった。だから、私は今もこうやって触っています。こうやっているだけでも子供はいいので、それを教えながらやっているから、公民館の今の幼児の子育て講座の企画は私はすばらしいと思っています。私は公民館と児童ホームで

教えていて、一番大事なところはちゃんと公民館もやっていただいているから、大丈夫かなと思いますけれども、そこに来れる人はいいんです。

#### ○大塚委員長

そこが公民館という社会教育という一つの大きな枠があって、それを外れたものではない。小さい子供さんの関係は、ストレートにそれがやれない場所なんですよ。だからストレートにやれないから、お母さんと子供たちとか、そういうところの中で、あからさまには言えないけれども、要するに、子供の愛情をちゃんとするには親子の絆というところを何らかの方法でできないか。これは簡単にやれるものではないから、よほど具体的なものを、一つの目的を精査していかなければならないからすぐできるものではない。

ただ、公民館としてやるべき仕事というのはまだまだいっぱいあるのかなというふうにも思っているので、1回目に言ったように、新しい企画が出た、それぞれ2つ3つありますよね。その新しい事業が1年間たったらどういう評価を市民の皆さんがしているのかというところから、いろいろと組み合わせながら、市民皆様のためにもっといいものがあるのかな、親子の関係はどうなのかな、友達関係はどうなのかなということの、それも社会教育の一つかなと思っているものですから、いろんなところで、大学や何かでいろんな計画をしていただいている方の感覚といたしますか、何をもって公民館で物をつくってくれているのかなというところの中に、少し将来の子供たちのために何か公民館でできることはないのかなということを考えているのですが、なかなかうまくできない。

そういうことで公民館でも何らかの新しいやり方で、子供たちが気持ちよく成人になって社会のために役立つようになってほしいなという意味において、何かできないかなというふうに考えることもいいのかな。それが実際にできるかどうか分からないですけども、たまにはこういう話をしておくのもいいのかなと思います。今日は先生も来ておられますので、ありがとうございます。何かご意見があったら。

#### ○春日委員

今聞いていて、ベビーマッサージでしたか、そういったものをいろいろ公民館のほうで企画をしてやっていただいている。ただ、来られる人が決まってしまうということですが、いろいろなところで広報はされていると思います。今聞いて、1歳ぐらいまでという、小学校1年生だともう大分大きくなっているけれども、幼稚園とか保育園とか地域にいっぱいあると思うんですよ。そういうところにも広報されているとは思いますが、やはり子供が生まれて幼稚園なり保育園なりに大体の家庭は行くと思うんです。行っていないと、またそれはそれで健診に来ないとか、それでまた児童家庭課とかからいろいろあるのですが、大体が行っていると思うので、そういったところにもっと、今のベビーマッサージだけになってしまいますけれども、そういうのは広報だけではなく

て直接保育園や幼稚園、幼稚園はちょっと大きくなってしまふかもしれないけれども、保育園に働きかけて、「そんなのがあるんだ、知らなかったわ」というお母さんとかが行かれるのかなというふうにちょっと思いました。小学校だと大分大きくなっているの、また違った形で。

○本間委員

小学生になると今度はプライベートゾーンになってしまうので、触っちゃいけないという方式に入ってくるので、そこは本当に難しい時期ですね。

○大塚委員長

この話しは行政さんがかんでもらわなければいけないので、担当課もあれだけの所帯を持っていますから、いろんな方法を考えてもらえるだろうと思うんですね。それについては我々がやるのではなくて、こういうのがあるからそちらで何かやってもらえませんかというような要望を出すこともあり得るかなと思って、その辺を皆さん、お忙しいでしょうけれども、何かご意見があったら、今年度そういうものを考えていただけたらありがたいなと思っております。たまたまそういう委員をやったものですから、彼と二人、聞いてはいるのですが、いざ具体的にといったときに、中身が分からないからと僕はストレートに言ったんです。なかなか難しいと思うので。その辺と話をしようと思っていますけれども。

○本間委員

薬田台の公民館だと、2年に1回、地域の家庭教育セミナーの一環としてPTAの方とかが施設を見学して、現状、実情を全部知っていただいて紹介しているので、近所の方には大分浸透している。もし皆さんもよろしければお声をかけていただければ、ご案内いたします。現実には教えられるので。

以上です。

○大塚委員長

それでは、公民館事業計画について採決を採らせていただきます。

それでは、各公民館一括して承認をしていただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員挙手ということで、公民館の事業計画（6月9日から9月21日）について、ご承認をいただきました。ありがとうございます。

東部公民館長さん、先ほどの調査の関係を、最後なのでやっていただけますか。

○東部公民館長

では、今から資料を配付させていただきます、アンケートについて報告させていただきますと思います。

(資料配付)



○東部公民館長

この資料につきまして、今回初めての方もいらっしゃるかと思われましたので、これに対する報告についてお話しさせていただきます。

お配りしているアンケート集計結果につきましては、各委員の皆様にご協力いただきましてありがとうございます。

この集計結果は、本日各委員の皆さんに報告するとともに、今後につきましても、各ブロックの公民館運営審議会の中で報告させていただいた後、6月22日（水）から各公民館窓口で閲覧できるということで進めさせていただく予定でございます。

このアンケートにつきましては、公民館を今より身近で使いやすい生涯学習施設にするために、公民館に対するイメージやニーズを把握することを目的に、公民館を利用する方または利用しない方へ向けて、令和3年11月16日から12月28日にかけて実施したものでございます。公民館利用者の方からは2,191名、利用されていない方からは890名の方から回答があったところでございます。

ページめくりまして、3ページから簡単にご説明させていただきます。

3ページにつきましては、「利用者向けアンケート集計結果」ということで、2,191件の年齢層の内訳でございます。公民館利用者という中では、やはり70歳以上の方が6割を超えているという結果をいただいたところでございます。

4ページ目、住まいはどちらにお住まいですかということで、上段の宮本から下段の坪井まで、数字はばらつきがありますが、こういった数字をいただきました。

5ページ目、あなたのご職業についてということで、公民館利用者の方につきましては、専業主婦（主夫）の方と無職の方で大体7割5分（75%）を占める割合で回答をいただいているものでございます。

6ページ目、公民館を利用する際の目的は何ですかという質問では、9割がサークル活動のために利用、その他については、図書室コーナーがある公民館もございまして、図書館の利用、または、地域主催事業への参加という数字が見受けられました。

7ページ目、公民館を予約・利用する際に不便だと感じることは何ですかという質問では、一番多かったのは「使いたい時間帯に予約が取れない」を筆頭に、「団体の登録や更新の手続きが面倒である」「公民館が近くにない（遠い）」「施設・設備が古い」などの回答をいただきました。

8ページ目、あなたが利用したいと思える公民館の取り組みについては何ですかという中では、「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする」を筆頭に、「利用手続きを簡素化する」「公民館のイベントや事業を充実させる」というところが多い回答が寄せられたところでございます。

次のページ、問7、今後オンライン配信を利用して公民館事業を実施した場合、参加してみたいと思いませんかというこの中では、「参加してみたい」から「持っていないが

参加してみたい」というところを合わせますと、約6割を超える方がオンラインを利用した事業に参加してみたいという票が示されたものでございます。

10 ページ目、あなたが特に重要だと考える公民館の役割については、「サークルなど、人々の活動場所を提供する役割」が75%、続きまして、「避難所として機能する役割」が54%、続いて「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」ということを期待されている傾向が出ております。

続きまして、11 ページからは、公民館を利用していない方に向けたアンケート集計結果、890 件いただきました。その中での年齢層については、利用している方のアンケート調査では70 歳以上が9割ということでもございましたけれども、この年齢層につきましては、若い年齢層からも回答をいただけたということでもございまして、18 歳～60 歳までの方、約半分の回答をいただいたという状況で集計したものでございます。

12 ページ目、住まいにつきましては、先ほどと同様、宮本から坪井までということでもいただいたところでございます。

13 ページ目、職業については、ここでは会社員の方、パート・アルバイト、自由業を足しますと、仕事に就いている方から約半分の回答をいただいたということでもございました。

14 ページ目、公民館の集会活動、サークル活動を知っていますか。「知っていた」という方が92.8%、利用されていない方でも公民館は知っていただいているという状況でもございました。

15 ページ目、公民館を利用しない理由は何ですかというところでは、「忙しくて利用する時間がないから」「公民館を利用する理由がないから」「参加したい事業・講座がないから」という回答をいただきました。

今後あなたが公民館を利用したいと思える公民館の取り組みは何ですかという質問につきましては、「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする」または「公民館の利用方法や公民館でできることを今よりも分かりやすく案内する」、「公民館のイベントや事業を充実させる」ということで、情報の発信が求められているのかなと感じているところでございます。

19 ページ目、今後オンライン配信を利用した公民館事業を実施した場合、参加してみたいと思いますかということでは、「参加してみたい」から「機器は持っていないが参加してみたい」ということで、参加したいという意向を示された方は全体で6割を超えていたところでございます。

20 ページ目、あなたが特に重要だと考える公民館の役割につきましては、「避難所としての機能の役割」を期待しているということが一番でもございました。続いて、「サークルなど、人々の活動場所を提供する役割」「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」ということで回答が寄せられたところでございます。

21 ページからは、利用する人の回答と利用していない人の回答の中で、同じ設問に対する比較ということで、まず年齢層の比較、続きまして職業の比較ということで、対比表をつくりました。

22 ページ目、今後あなたが公民館を利用したいと思える公民館の取り組みということでは、利用する人、利用しない人も、割合的には同じ傾向に見受けられるところではございますが、やはり「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手」または「公民館でできることを今よりも分かりやすく案内する」とか「公民館のイベントや事業を充実させる」という回答が、共に比較的多い傾向でございました。

最後に、あなたが特に重要だと考える公民館の役割についても、同じ傾向の割合で数字的には出ているところではございますが、やはり「サークルなど、人々の活動場所を提供する役割」「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」「災害時の避難所としての役割」という傾向が数字的には多く見受けられております。

このような結果を踏まえた中で、私どもとしては今後の公民館の運営方法とか改善のための資料として役立てて進めていきたいと考えているところでございます。

○大塚委員長

集計結果は分かりました。結果を受けて、社会教育課でこれに基づいて、概略でいいのですが、結果後のまとめというか方向性というか、そういうことは検討されているのですか。

○東部公民館長

今委員長がおっしゃった視点につきましては、いろんな課題がここには含まれておりました。例えば手続きがいろいろ煩雑であったり、事業を展開するにおいても、ふだん利用されていない新しい方が利用するためにはどういったことをやればいいのか、そういったところは、公民館として社会教育課と、これからどう改善したらいいのか、新しい利用されていないところをどういった形で事業を取り組んだらいいのか、今の時代のニーズに合った事業展開ということを検討していくということで、今進めているところでございます。

○大塚委員長

そこで一つお願いがあるのは、それを検討していただくのは大変ありがたいのですが、それは社会教育課だけではなくて運営審議会においても同時に意見を求めて、両方のマッチしたものを新しい公民館としての事業の中に入れていくということも考えてもらったほうがいいのではないですかね。

○吉田委員

せっかくこうやっていろいろな結果が出ているのだから、それに対して何らかのフォローみたいな形を取っていただければ、我々としてもいろいろなことができるかなと思いますね。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○加瀬委員

ちょっといいですか。この設問というのは役所の職員で作ったのですか。

○東部公民館長

はい、そうです。

○大塚委員長

以上で事務局へお返しします。

○事務局（東部公民館長補佐）

本日は、ご審議いただきましてありがとうございました。

次回の第3回公民館運営審議会は、9月22日（木）午後3時から、今回と同じこの会議室で開催となります。よろしく願いいたします。

委員長、以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

今日配付されたこの事業計画シートというのは、今回初めてでしたか。

○事務局（東部公民館長補佐）

書面会議だったのですが、第5回の資料としてお送りさせていただいています。ただ、今回新しい方が入られたということで、第1回のようにそういうお声かけをいただきましたので、資料として配付させていただきました。

○大塚委員長

分かりました。

よろしいですか。

では、本日はこれで終了します。ありがとうございました。

午後5時02分閉会

令和 4年 月 日

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印